

2017年5月31日

## 第5期活動報告書

### 1. 日本支部の概要（2017年5月31日現在）

- ・役員数 11名（資料②役員名簿参照）
- ・会員数 1,051名（前年総会報告時951名）

### 2. 活動報告

#### 1) 定期パブリックカンファレンスの開催

【第12回パブリックカンファレンス】平成28年7月27日（水）13:00～17:10

会場：品川フロントビル地下1階会議室B（東京都港区港南）

参加者数：78名

テーマ：「熊本地震の検証 ～「危機管理の予測・予防・対応」という観点から振り返る～」

<講演>

- ①「熊本地震の検証 危機管理の予測・予防・対応」  
林 春男氏（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長）
- ②「熊本地震は予測できたのか、今後の巨大地震にどう備える」  
平田 直氏（東京大学地震研究所教授・地震予知研究センター長）
- ③「熊本地震における生活再建」  
井ノ口宗成氏（静岡大学情報学部講師）
- ④「熊本地震に伴う産業被害の状況把握と復旧活動の検証」  
渡辺研司氏（名古屋工業大学大学院教授）

<パネルディスカッション>

コーディネーター：牧紀男氏（京都大学防災研究所教授）

パネリスト：上記講演者

<名刺交換会> 17:10-17:30

<交流会> 17:30-19:30 会場：同上

【第13回パブリックカンファレンス】平成29年1月11日（水）13:00～17:10

会場：品川フロントビル会議室B（東京都港区港南）

参加者数：73名

テーマ：「予測・予防・対応の視点で考えるサイバー攻撃」

<講演>

- ①「IoT時代におけるサイバー攻撃のシナリオ」  
佐々木良一氏（東京電機大学教授）
- ②「事業継続とサイバー攻撃 自然災害との対応の違い」  
渡辺研司氏（名古屋工業大学大学院教授）
- ③「サイバー攻撃の予防と対応策／未然防止とCSIRTなどについて」  
前田裕二氏（NTTセキュアプラットフォーム研究所 理事・主席研究員）

<パネルディスカッション>

コーディネーター：井ノ口宗成氏（静岡大学情報学部講師）

パネリスト：上記講演者

<名刺交換会> 17:10-17:30

<交流会> 17:30-19:30 会場：同上

#### 2) 共催

【第21回地域防災計画実務者セミナー】平成28年11月16日（水）、17日（木）

会場：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）東京本部（東京都千代田区四番町）

参加者数：87名

<1日目（16日）>

テーマ：H28熊本地震における生活再建支援業務の実際～生活再建支援連携体の活動～

13:00～はじめに

13:10～「現地における生活再建支援業務実施の全体像」静岡大学 情報学部 講師 井ノ口 宗成

13:30～「応援都府県」の立場から

（25分）東京都 総務局 総合防災部 防災対策担当部長 和田 慎一

（25分）京都府 政策企画部 情報政策統括監 原田 智

（25分）新潟県 防災局防災企画課 主任 岩野 直 新潟県 防災局防災企画課 主任 諸橋 泰平

- 14:45- 休憩 -

15:00～ 講演①(30分)「産」の立場から「生活再建支援連携体に参加して」ESRIジャパン

株式会社 代表取締役 社長 正木 千陽 15:30～ 講演②(30分)「官」の立場から「H28熊

本地震における対応と応援」内閣府 官房審議官（防災担当）緒方 俊則

16:00～ 講演③(30分)「学」の立場から「生活再建支援連携体の活動」国立研究開発法人 防

災科学技術研究所 理事長 林 春男（16:30～ 場面転換）

16:35～ 全体討論コーディネーター 静岡大学 情報学部 講師 井ノ口 宗成

17:30～ 意見交換会（～20:00 終了予定）

<2日目（17日）>

実習者セミナー「一日で学ぶ生活再建支援業務（東京都プログラム）」

10:00～ はじめに

第1部 生活再建支援業務とは（座学）

10:05～ 生活再建支援業務における本研修の位置づけ

10:20～ 被災者生活再建の全体像 林春男／防災科学技術研究所

11:00～ 住家被害認定調査（基礎）堀江 啓／（株）インターリスク総研

11:20～ 住家被害認定調査（火災）大高 浩 / 東京消防庁

11:40～ 調査票のデジタルデータ化 松下 靖／デュプロ（株）

12:00～ り災証明書発行 濱本 両太 / ESRIジャパン（株）

- 12:20- 昼休み -

13:20～り災証明書発行マネジメント 天寺 純香／日本法制学会

13:40～被災者台帳管理システムの全体像 井ノ口 宗成／静岡大学

14:00～総合防災訓練におけるり災証明発行訓練 菅原 祥隆/NTT東日本

14:20～訓練会場のレイアウト検討 田村 圭子／新潟大学

- 14:35- 休憩

第2部 生活再建支援業務のための支援ツールとは（演習）

14:45～演習

住宅被害認定調査（木造・非木造）堀江 啓／（株）インターリスク総研

調査票の自動切り出しと読み込み 松下 靖／デュプロ（株）

り災照明の発行 濱本 両太 / ESRIジャパン（株）

生活再建支援業務登録と管理 寺野 秀聖 / ESRIジャパン（株）

- 16:45- 休憩

17:00- まとめ

- 2) 文科省委託研究「都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト/サブプロ③」  
都市防災研究会への参加。

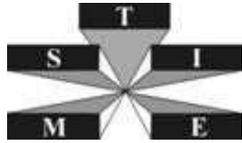
### 3) 情報発信活動

- メールリングリスト管理を行い、適宜情報の発信、共有化を図った。
- 新建新聞社発行の「リスク対策.com」(電子版)を会誌として、情報発信の場とした。
- facebook上にTIEMS日本支部のページをつくり、会員間の情報交流の場とした。

### 4) その他

- 理事会の定期開催(平成28年7月、9月、平成29年1月)

以上



国際危機管理学会 (TIEMS) 日本支部  
第5期 収支報告書

自 2016年5月1日 至 2017年4月30日

(単位：円)

1.収入の部

項目	予算額①	決算額②	予算差異(②-①)	備考
事業収入	100,000	201,908	101,908	
協賛金	100,000	70,908	▲ 29,092	第12回パブリックカンファレンス運営人件費
	0	131,000	131,000	諸経費
			0	
その他収入	100	4	▲ 96	普通預金利息
前期繰越金	512,443	512,443	0	
収入合計 (A)	612,543	714,355	101,812	

2.支出の部

項目	予算額①	決算額②	予算差異(②-①)	備考
事業支出	170,000	37,218	▲ 132,782	
交通費	100,000	0	▲ 100,000	
事務通信費	20,000	0	▲ 20,000	
諸雑費	50,000	37,218	▲ 12,782	2016年学会メンバー会費
その他支出	10,000	6,500	▲ 3,500	海外送金手数料
支出合計 (B)	180,000	43,718	▲ 136,282	

3.当期収支差額 (次期繰越金)

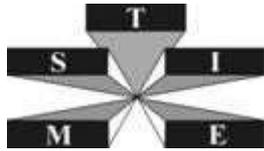
(A) - (B)	432,543	670,637	238,094	
-----------	---------	---------	---------	--



## 国際危機管理学会(TIEMS)日本支部役員名簿

2017年5月31日現在

	氏名	所属	役職名
代表理事	林 春男	京都大学防災研究所 (防災科学技術研究所)	特任教授 (理事長)
理事 (事務局長)	牧 紀男	京都大学防災研究所	教授
監事	藤縄 幸雄	株式会社ミエルカ防災	技術顧問
理事	渡辺 研司	名古屋工業大学大学院	教授
理事	田村 圭子	新潟大学 危機管理本部 危機管理室	教授
理事	井ノ口宗成	静岡大学 情報学部 行動情報学科	講師
理事	田代 邦幸	株式会社サイエンスクラフト	防災部 上席コンサルタント
理事 (会計担当)	田中 秀宜	日本ミクニヤ株式会社	代表取締役
理事 (広報担当)	中澤 幸介	新建新聞社	取締役 リスク対策.com 主筆
理事	土門 寛	日本ミクニヤ株式会社	経営企画室室長



## 監査報告書

TIEMS 日本支部

代表理事 林春男 殿

私は、平成28年5月1日から平成29年4月30日までの活動及び収支の監査を行い、次の通り報告します。

### 1 監査の方法の概要

- (1) 活動監査について、理事会に出席し、理事から活動の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて活動執行の妥当性を検討しました。
- (2) 収支監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討しました。

### 2 監査結果

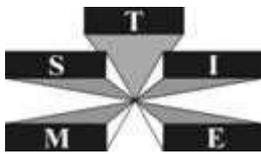
- (1) 活動報告書は、法令及び規約に従い、会の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 収支報告書は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは規約に違反する重大な事実は認められません。

以上

平成29年5月31日

TIEMS 日本支部

監事 藤縄幸雄



## 第6期活動計画及び予算計画書

### 1. 活動計画

#### 1) 主な活動

平成29年度よりスタートしたデータプラットフォーム拠点形成事業(防災分野)「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト」の中で、データ利活用協議会が6/23に発足される。

当支部のパブリックカンファレンスの開催については、この協議会のオープンなフォーラムに共催する形で開催を継続していく。

平成29年6月23日(金) 13:30-17:00 (時事通信ホール)

データ利活用協議会キックオフイベント (共催)

平成30年2月or3月(月) 13:00-17:00 成果報告会 (共催)

#### 2) 外部プロジェクト・学会・シンポジウム等への参加

- ・都市防災研究協議会への参加
- ・「都市総合防災研究会」(代表 林春男(防災科学技術研究所 理事長))との協業。

#### 3) 情報発信活動

- ・メーリングリスト管理を行い、適宜情報の発信、共有化を図る。
- ・新建新聞社発行の「リスク対策.com」(電子版)を会誌として、情報発信の場とする。
- ・facebook上にTIEMS日本支部のページをつくり、会員間の情報交流の場とする。

#### 4) その他

- ・理事会の定期開催(開催日未定)

### 2. 予算計画

#### 1) 収入 (単位:円)

項目	予算額(案)	備考
協賛金	100,000	-
その他	100	普通預金利息
前期繰越金	670,637	-
収入合計(A)	770,737	-

#### 2) 支出

項目		予算額(案)	備考
事業支出	交通費	100,000	-
	事務通信費	20,000	-
	諸雑費	50,000	TIEMS本部会費
その他	支出	10,000	普通預金利息 国税・地方税
支出合計(B)		180,000	

#### 3) 繰越

(A) - (B)	590,737	-
-----------	---------	---

以上